

2009年11月18日  
野村不動産株式会社

報道関係者各位

## 野村不動産「プライドエコビジョン」発表

“住まう方のメリットを第一に” 「へらす」「つくる」「いかす」の視点でエコを追求

野村不動産株式会社(本社:東京都新宿区 取締役社長:鈴木弘久)は、分譲マンションブランド「プライド」において快適な住まいと環境との調和を目指す環境コンセプト「プライドエコビジョン」を策定致しました。

「プライドエコビジョン」は、多様な省エネ技術・省エネ設計を標準化するとともに、住まう方のメリットを追求し、身近な暮らしの中できちんと実感できるエコを基本観とし、その取組みを継続し、省CO2化マンションのスタンダードとして展開することで、社会＝地球環境に貢献するエコを目指します。

「プライドエコビジョン」は、その考え方を具体化した第一号プロジェクトである「プライドシティ池袋本町」(東京都豊島区、総戸数 785 戸、平成 22 年 2 月販売予定)より、順次プライドシリーズに導入してまいります。



### ◇「へらす」「つくる」「いかす」 3つの視点でエコを追求

「へらす」とは、エネルギーを効率よくつかうことで、環境と家計の負担を減らすこと。

低エネルギー消費の工夫として、断熱性・遮熱性を強化し、多様な省エネ機器を標準化します。

「プライドシティ池袋本町」では、開口部サッシには複層ガラス、二重サッシを採用することで、断熱・遮熱を強化。「次世代省エネ基準」に適合した断熱等級4を採用します。これは東京都マンション環境性能表示においては「建物の断熱性」で3つ星となります。また、エネルギー消費の多くを占める「給湯」と「照明」を効率化し、高効率型給湯器「エコジョーズ」、蛍光灯ランプをセレクトできる「マルチランプダウンライト」※を採用します。

さらに、エネルギー消費量をCO2換算値で表示できる「エネルギーリモコン」を採用することで、日々の暮らしの中で、身近な省エネ意識の向上を提案していきます。

### ※「マルチランプダウンライト」～東芝ライテック(株)・パナソニック電気(株)と共同開発～

マンションにおける重要な省エネアイテムのひとつが照明器具。当社独自の取組みとして、東芝ライテック(株)およびパナソニック電気(株)他3社とマンション向け「マルチランプダウンライト」を共同開発しました。従来のダウンライト器具では対応できるランプ(電球)が限られていましたが、今回開発したダウンライトは、省エネ効果の高い電球型蛍光灯はもちろんのこと、将来的に普及するであろうLED電球にも対応できます。また従来製品より寸法・高さ・開口部をコンパクトにすることでデザイン性にも配慮しています。

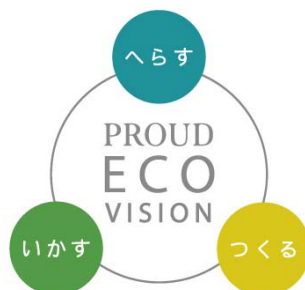
「つくる」では自然の力によるエネルギーの活用を提案します。

「プライドシティ池袋本町」では太陽光発電パネルを共用部に設置し、共用部の電力の一部に自然エネルギーを活用。その発電量を「見える化」し、身近なエコライフを実感できる工夫をしています。さらに自然資源の活用として、雨水を貯留し、共用部のトイレ排水等に再利用します。

今後のプロジェクトによっては、エコライフのシンボルとして風力発電の導入も検討していきます。

「いかす」とは、省エネ設計の配慮・工夫、いわゆる「パッシブデザイン」を取り込むことでエコを実現するものです。

「パッシブデザイン」とは、庇や植栽による日射の遮蔽や、配棟計画や住戸プランの工夫による通風の確保など、入居者の快適性を高めるデザインのこと。集合住宅ならではの設計上の工夫や植栽計画の工夫で“風を通し、熱を遮る”住まいのこころよさを追求します。また「いかす」には、“集合住宅”としてのマンションのメリットを最大限に活かすというもう一つの側面があります。「プライドシティ池袋本町」では、ハイブリッドエコカーを採用したカーシェアリングやレンタサイクルシステムを導入し、スケールメリットをいかした、トータルで省CO2となるマンションならではのエコライフを提案しています。



近年、環境に対する関心が高まるなか、野村不動産では、「住まう人の心地よさを追及しながら、自然と調和していくこと。そして社会全体のエコにつなげること。」という「プロウドエコビジョン」に基づき、常に新しい発想で、住まう人が誇りに感じられるマンションを今後も提供してまいります。

以上

## 《参考》

### 【プロウドシティ池袋本町物件概要】

所在地	東京都豊島区池袋本町4丁目2016-9、8及び、板橋区板橋1丁目2546-5(地番)
販売予定時期	平成22年2月
引渡予定時期	平成23年3月下旬
構造・規模	鉄筋コンクリート造・一部鉄骨造 地上15階・地下1階建
交通	JR 埼京線「板橋」駅徒歩2分、都営三田線「新板橋」駅徒歩5分、東武東上線「下板橋」駅徒歩4分
総戸数	785戸
間取り	2LDK～4LDK
敷地面積	20,652.34㎡
専有面積	58.07㎡～87.45㎡
最多価格帯	5,000万円台(1,000万円単位)
売主	野村不動産株式会社
設計・監理	株式会社長谷工コーポレーション エンジニアリング事業部
施工	株式会社長谷工コーポレーション

### 【完成予想図】



本件に関するお問い合わせ窓口

野村不動産株式会社 広報部(石川・柿原)

TEL03-3348-7805・FAX03-3343-0445